

執筆者紹介

立命館大学教授 井上巖次郎  
 立命館大学教授 津ノ国長四郎  
 立命館大学教授 梯 明秀  
 立命館大学専任講師 森川 信  
 立命館大学専任講師 高尾 忠男  
 立命館大学助教授 関 弥三郎  
 立命館大学助教授 松田 弘三

立命館大学経済学会委員

井上 巖次郎  
 梯 明 秀  
 祭原 光太郎  
 高 橋 良三  
 津ノ国長四郎  
 関 弥三郎

編集後記

順調に、第二巻も最後の編集を終えることができた。研究会活動も社会見学も秋を迎えてとみに活潑さを加え、機関誌もみられるとおり充実したものになった。われわれの学部では、経営学陣に新に木村喜一郎教授を加えることになったし、永らく病氣静養中でいられた藤谷教授の快起による講筵の再開をみることができたとともにわれわれの限らない喜びである。両教授の御活躍を期待してやまない。今年には御存じのようにマルクスの生誕百三十五年死後七十年に当る。各地の経済学会ではそれぞれ記念行事が催されたようである。われわれも企画の時期が多少手おくれたために、実現がずれるのは残念であるが、第三巻第一号はその成果をもって飾りたいと思っている。

(T)

★毎々、機関誌を御恵投下さいまして洵にありがとうございます。交換誌の御送附先きは、必ず左記に願ひ上げます。念のため。

京都市上京区広小路通寺町東入ル  
 立命館大学経済学部研究室 宛

振替口座番号 京都三〇六八番  
 京都市西陣局区内広小路寺町東入  
 立命館大学経済学会 宛

昭和二十八年十二月二十日印刷  
 昭和二十八年十二月二十五日発行

定価 百二十拾円

立命館経済学 第二巻・第六号

編 集 者 立命館大学経済学会

印 刷 者 (高橋良三)  
 中村 勝 治

京都市上京区廣小路通寺町東入ル  
 立命館大学 内  
 発 行 所 立命館大学人文科学研究所

京都市下京区土橋御所ノ内東町

印 刷 所 中村印刷株式会社

# THE RITUMEIKAN ECONOMIC REVIEW

The Bi-monthly Journal of Ritumeikan University

Vol. II

December 1953

No. 6

## CONTENTS

### Comment :

Iwazirô Inoue : Some Recent Laws Relating to the Small  
Firms. ....( 1 )

### Treatises :

Chôshiro Tsunokuni : Some Views for " Accrual Basis and  
Realization Basis " on Accounting. ....( 12 )

Akihide Kakehasi : Sensive Intuition of " Eine ungeheure  
Warensammlung. " .....( 28 )

### Memoir :

Shin Morikawa : American Cotton Production and its Stock  
Adjustments. ....( 66 )

Tadao Takao : A Weak Point of Internal Check System. ....( 81 )

### Lecture :

Yasabrô Seki : Random Sampling Method. (V) .....( 90 )

Hirozô Matsuda : A History of the Origin of the  
Surplus-Value Theory. (II) .....(110)

---

The Ritumeikan University Economic Society  
KYOTO , JAPAN